

当時の思い出

浅野 航平 (平成 25 年度卒業生)

私は、2年生後期・3年生前期と2期にわたって生徒会長をやらせていただいたこともあり、すべての学校行事に携わらせていただきました。このお話をいただいた時に自分でも驚くぐらいに、当時の素晴らしい思い出の数々が、よみがえってきました。

今も残っているかは分かりませんが、当時は生徒会長の仕事の中に、「毎朝、校長室を掃除する」というものがありました。そこでは、毎日のように今は亡き中村校長先生と、いかにして那加中生全体を巻き込んだ活動をしていくか?を日々語り合ったものでした。私が言った一言で、先生が支援してくださり、それに合わせて那加中生全体が動くというのはとても責任感あふれるものであり、その分、やりがいがあり、生徒が学校を創っているという確かな実感がありました。

当時の生徒会のメンバーには、とても感謝しています。特に3年生前期の生徒会メンバーは、私がスローガンに「伝説的那加中」というのを掲げたのもあり、毎週のように新たな活動を企画し、大変だったのを覚えています。帰りがどれだけ遅くなくても、文句1つ言わずついてきてくれました。この場をお借りしてお礼を言わせてください。ありがとう。

最後に、これからの那加中が70年という時を経てさらに伝説を創っていくことを願って、私の当時の思い出とさせていただきます。

恩師のたより

伝説

米村 恵吾 (平成 25 年度 3 年学年主任)

「伝説」これが平成 25 年度の目標である。この合い言葉を胸に、生徒たちは 3 年間で過ごした。その軌跡がこれである。

校内では、「掃除の仕方を他学年に広めた」「給食を芝生で縦割学年で行う」新たな活動を生みだした。校外では、「職場体験で、お世話になったスーパーや八百屋さんの前で合唱を披露」した。そんな中で、これぞ伝説というものがある。1つ目は、修学旅行である。和歌山県串本町への2泊3日。那加中学校としては2年目であった。新たに「串本町の大島小中学校との交流」「約30カ所に分散しての民泊」を行った。2つ目は、3年生としての体育祭である。「吹奏楽部の生演奏と生歌をバックに踊った那加ダンス」「宮城県の鳴瀬未来中学校との交流として校長と電話で話をした生徒会長」。

何事にも前向きで、そして楽しんだ生徒達。卒業式の体育館入場前に全員とハイタッチしたことは私の伝説です。



交流あふれる那加中

土田 純平 (平成 26 年度卒業生)

那加中学校で感じたことは交流の豊かさです。

学校付近の地域、県内の小中学校、県外の学校などと様々な繋がりがあり、当時生徒会長だった私もその交流を深める活動に参加させていただきました。

そのなかでもよく覚えているのは東日本大震災の被災地となった中学校との交流です。3年生の時、私は那加中学校の代表として県内の色々な中学校の生徒と石巻市立門脇中学校に行き、その中学校の生徒から当時の話を聞いたり、一緒に災害時の対策について話し合ったりしました。その後実際に被害に遭った場所を見てまわりましたが、そこで見た、恐ろしい震災を物語るような光景は今でもこの目に焼きついています。こうしてこの身で感じたことを学校に持ち帰り、プレゼンを通して全校生徒と共有することが出来ました。

那加中学校でこのような経験が出来たことを誇りに思うと同時に、いつまでも交流あふれる那加中学校であることを願っています。

恩師のたより

素敵な出会い！夢を叶えようと挑戦する 平成 26 年度 3 年生!!

辻角 政治 (平成 26 年度 3 年学年主任)

平成 26 年度 3 年生…はというと、「パワフルな担任の先生方」と「素直で爆発的なエネルギーをもった生徒たち」…この一言に尽きると思います。この両者が出会った先はというと、毎日がにぎやかで楽しい時間と変わるのに、多くの時間は必要ありませんでした。

4月スタート…新しい学級、新しい担任の先生との出会いで落ち着かず、ほとんどの生徒が廊下にいたのを覚えています。まるで渋谷のスクランブル交差点!?!トイレに行くのも教室に戻るのも一苦勞…そんな皆さんでしたが、体育祭への取り組みが始まる4月下旬頃、あっという間に学級で団結し、全校を力強くリードする素敵な先輩に成長しました。

それからというもの、学校行事はもちろん、生徒会の取り組み、日常生活の掃除…すべてにおいて姿で示してくれた3年生。進路でも、持ち前のエネルギーを爆発させ、東海地方はもちろん、北は青森、関東では群馬など、多くの生徒が岐阜県を飛び出し、自らの可能性を広げようと親元を離れました。卒業式では、前日のサプライズダンスや学級を飛び出して感謝の思いを伝えるなど、これまでの概念を超えてくれた皆さん。本当に毎日が楽しかったです。

依頼された400字を軽く超えてしまいましたが、これでもかなり割愛した生徒たちとの思い出。輝かしい未来、どんな大人になって活躍してくれるか楽しみです。

